

## 注 意 報

### 平成12年度病害虫発生予察注意報第4号

平成12年8月11日

熊本県病害虫防除所長

農作物名 水 稲 (早植え栽培)

病害虫名 いもち病 (穂いもち)

#### 1 予報内容

- (1) 発生地域 中山間部早植え栽培地域
- (2) 発生時期 8月中旬以降
- (3) 発生程度 平年比 やや多

#### 2 注意報発令の根拠

- (1) 8月上旬の上益城郡、阿蘇郡における調査では、早植え水稲71ほ場のうち64ほ場で葉いもちの発生が認められ昨年・平年に比べ高い発生ほ場率であった(発生ほ場率90%、昨年45%、平年70%)。特に、上益城郡での発生ほ場率が高かった(発生ほ場率97%、昨年16%、平年69%) (表-1、表-2参照)。
- (2) 発病株率は全体で42%(昨年6%、平年31%)、上益城郡では66%(昨年0.3%、平年36%)に達し、昨年より極めて高く、平年に比べやや高かった。発病程度は、病斑がわずかに見られる程度のものが大半を占めていたが、ほ場によっては上位葉まで病斑の形成が見られた(表-1、表-2参照)。
- (3) 穂いもちの発生は、出穂期の上位葉における病斑の有無と、穂ばらみ期～穂揃い期にかけての天気が最も影響を与えるが、現在、上益城郡では穂ばらみ期～穂揃い期、阿蘇郡では穂ばらみ期～乳熟期となっており、穂いもち防除にとって最も重要な時期となっている。
- (4) イネ葉いもち予測モデル(BLASTAM)では、7月下旬から8月上旬にかけて好適条件及び準好適条件が中山間地(特に鹿北・阿蘇地域)で出現していた。
- (5) 一ヶ月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並の見込みであるが、気温の日較差の大きい中山間地では露が長時間乾かない状態が続くため、病勢の進展が予想される。

### 3 防除上注意すべき事項

- (1) 窒素肥料の多施用は発病を促進するので、穂肥は生育診断に基づいて施用する。
- (2) 穂いもちが発生後の防除が困難なので、予防防除を徹底する。特に上位葉に病斑が見られる場合は必ず防除を行う。
- (3) 穂いもちの防除は「穂ばらみ期」から「穂揃い期」にかけて行うが、葉いもちの発生が多いほ場では「穂ばらみ期」と「穂揃い期」に2回防除する。多発年次には傾穂期の臨機防除も必要である。
- (4) 使用薬剤は、県または地域の防除基準に従い、使用基準を遵守して農薬の安全使用に努める。

表－1 H12 葉いもち発生状況調査（8／8）

単位：％（発病株率）

調査地点	いもち病		出穂状況	備考
	発病株率	発病程度		
御船町 七滝 1	100	1	穂ばらみ期	.
" " 2	63	1	穂ばらみ期	.
" " 3	85	1	穂ばらみ期	上位葉まで発病
清和村 仏原 1	100	1	穂ばらみ期	30%位の株で上位葉まで発病
" " 2	100	1	出穂期	上位葉まで発病
" " 3	61	1	出穂期	.
" " 4	46	1	穂ばらみ期	.
清和村 郷野原 1	0	0	出穂期	.
" " 2	11	1	出穂期	.
" " 3	44	1	出穂期	.

3						
4	" "	10	1	出穂期	.	
5	" "	98	1	穂ばらみ期	.	
清和村	鶴底	1	13	1	穂ばらみ期	
2	" "	100	1	穂ばらみ期	.	
3	" "	100	2	穂ばらみ期	.	
4	" "	100	1	穂ばらみ期	葉色が濃い所の発病程度は 2～3	
清和村	大平	1	9	1	穂揃い期	
2	" "	8	1	穂ばらみ期	.	
3	" "	11	1	穂ばらみ期	.	
矢部町	田小野	1	100	2	穂ばらみ期	上位葉まで発病(大型病斑)
2	" "	100	1	穂ばらみ期	上位葉まで発病(大型病斑)	
3	" "	100	1	穂ばらみ期	.	
4	" "	81	1	穂ばらみ期	.	
矢部町	岩立	1	2	1	穂ばらみ期	
2	" "	97	1	穂ばらみ期	殆ど下位葉に発病	
3	" "	62	1	穂ばらみ期	.	

4	'' ''	56	1	穂ばらみ期	.
矢部町	入佐	1	100	1	穂ばらみ期 上位葉まで発病
2	'' ''	100	1	穂ばらみ期	上位葉まで発病(大型病斑)
3	'' ''	10	1	穂ばらみ期	.
4	'' ''	8	1	穂ばらみ期	.
矢部町	麻山	1	20	1	穂ばらみ期
2	'' ''	100	1	穂ばらみ期	上位葉まで発病
3	'' ''	98	1	穂ばらみ期	.
4	'' ''	69	1	穂ばらみ期	.
矢部町	下名連石	1	91	1	穂揃い期
2	'' ''	100	1	穂ばらみ期	上位葉まで発病
3	'' ''	100	2	穂ばらみ期	上位葉まで発病
4	'' ''	100	1	穂ばらみ期	上位葉まで発病
発生株率	(上益城)	65.5	.	.	発生ほ場率 97% (38/39)

単位 : % (発病株率)

調査地点	いもち病		出穂状況	備考
	発病株率	発病程度		
久木野村 井手下 1	5	1	穂揃い期	.
" " 2	0	0	穂揃い期	.
" " 3	3	1	穂ばらみ期	.
" " 4	4	1	穂ばらみ期	.
長陽村 東下田 1	1	1	乳熟期	.
" " 2	0	0	乳熟期	.
" " 3	0	0	穂揃い期	.
" " 4	1	1	穂揃い期	.
阿蘇町 永草 1	0	0	出穂期	.
" " 2	7	1	出穂期	.
" " 3	4	1	穂揃い期	.
" " 4	3	1	穂揃い期	.
阿蘇町 内牧 1	12	1	穂揃い期	.
" " 2	0	0	出穂期	.
" " 3	5	1	穂ばらみ	.

3			期	
" "		12	1 穂揃い期	上位葉まで発病
4				
一の宮町 中通	1	0	0 開花期	.
" "		7	1 開花期	.
2				
" "		1	1 乳熟期	.
3				
" "		3	1 乳熟期	上位葉まで発病
4				
一の宮町 宮地	1	2	1 開花期	.
" "		8	1 開花期	.
2				
" "		22	1 開花期	.
3				
" "		1	1 乳熟期	.
4				
一の宮町 萩草	1	18	1 出穂直前	.
" "		2	1 出穂直前	.
2				
" "		29	1 穂ばらみ期	.
3				
" "		14	1 穂ばらみ期	.
4				
南小国町 赤馬場	1	96	1 出穂直前	.
" "		74	1 出穂直前	.
2				
" "		48	1 穂揃い期	.
3				

4	“ “	27	1	穂揃い期	.
発生株率	(阿蘇)	12.8	.	.	発生ほ場率 81% (26/32)
合	計	41.7	.	.	発生ほ場率 90% (64/71)

調査方法： ほ場当り100株見取り

発病程度： 0 . . . . 病斑なし。

1 . . . . 病斑がわずかに見られる。

2 . . . . 病斑がかなり見られる。

3 . . . . 病斑がかなり見られ、軽いずり込み症状を呈する。

4 . . . . 下葉は枯死し、ずり込み症状を呈する。